



学校教育の振興につきましては、人間性豊かな、心身ともに健全な県民の育成を目指して、教育機会の拡充、教職員の

養護学校の整備に重点をおき、昭和五十四年義務化に対処することとしております。

職経験五年程度の教員の研修を中心に、その他一般研修も更に充実したものと、教職員の指導力の向上を図ることにします。

▲子供は次代の宝、すこやかな成長を

- ★高等学校の施設・設備の充実……三十六億千八百十六万円
- 八代地区における新設高校及び定通独立校新設のため、調査費（設計委託料）を新たに計上しました。
- 校舎改築については、本年度から球磨農業高校及び熊本工業高校の整備をはかるとともに、荒尾高校他八校の改築を継続して行います。
- また、産業教育の向上をはかるため、施設・設備を充実して、多様化する社会の要望にそなう教育内容の充実を図ることにします。
- ★特殊教育諸学校の整備……四億九千二百七万円
- 昭和五十四年度からの養護学校教育の義務制実施を間近にひかえ、松橋西養護学校及び芦北養護学校をこの四月開校します。更に天草地区及び玉名地区に新設養護学校を建設することとしました。
- また、熊本養護学校及び黒石原養護学校の学級増設に必要な校舎の増築や、体育館の新築を行います。
- ★教員研修の充実……八億七千二百五十二万円
- 本年度から特に新規採用教員及び、教
- ★消費生活センターは、教育、商品テストなどで消費者の利益増進を図ります
- とくに、省資源運動を強力に推進します。また、生活展の開催等により消費生活に関する知識の向上に努めるほか、生活関連物資の需給・価格の動向について、常時監視、調査を行いその安定を図ります。
- ★消費生活展の開催……二百六十三万円
- 日常の消費生活において、商品・サービスに関して各種危害の発生や苦情が絶えない状況にあります。が、「賢い消費者」づくりを目ざして消費者知識の習得を図るとともに、消費者の自主的参加のもとで相互の連帯感を強め合い、生活向上の確保に資するため生活展を開催します。
- ★省資源運動推進事業……二百六十三万円
- 安定した消費生活は、世界的に有限な資源・エネルギーを大切に守り育てて行くという長期的展望に立った生活設計から生まれるものです。このため、県民のこの運動に対する自主的な意識の確立と実践を図るため、モデル地区の設置など資源とエネルギーを大切にす県民運動を推進します。
- ★地域食品認証制度事業……二百五十五万円
- 県内で生産され流通する地域食品のうち、納豆、かまぼこなど八品目について、この制度の運用により品質向上と購買上の利便を図っておりますが、本年度は、認証工場の点検、指導を行うとともに、認証品の試買検査を行い、より一層の充実を図ります。
- ★消費者啓発事業……五百一十万円
- 消費者意識の高揚を図るため、「消費生活ニュース」を毎月発行するほか、消費生活センターにおいて消費生活講座、リーダー養成講座、通信講座等を実施し、またモデル町村の設置、テレフォンサービスなどを行います。
- ★苦情処理体制整備等事業……四百五十万円
- 消費生活センターにおいて、苦情相談や各種の商品テスト並びに移動センターを実施して、消費者の利益増進を図ります。
- ★物資・物価対策事業……一千九百三十七万円
- 毎月生活関連物資価格等の動向調査を行うほか、調査結果並びに物価知識について、毎月「物価ニュース」を発行するとともに、新聞等を通じて情報の周知に努め、また物資情報提供協力店制度の活用により、県民生活の安定と向上を図ります。
- ★私学振興、父母負担の軽減……二十一億三千三百九十二万円
- 私立学校の教育振興、父母負担の軽減を図るため教職員に対する人件費、教育費等の経常費補助及び私学振興関係団体に対する助成の充実強化を図ります。



資源・エネルギーの制約下における今日の経済社会環境の変化のもとで、県民の消費生活の安定と向上を図るため、消

▲消費生活センターは、教育、商品テストなどで消費者の利益増進を図ります

- ★消費生活センターは、教育、商品テストなどで消費者の利益増進を図ります
- とくに、省資源運動を強力に推進します。また、生活展の開催等により消費生活に関する知識の向上に努めるほか、生活関連物資の需給・価格の動向について、常時監視、調査を行いその安定を図ります。
- ★消費生活展の開催……二百六十三万円
- 日常の消費生活において、商品・サービスに関して各種危害の発生や苦情が絶えない状況にあります。が、「賢い消費者」づくりを目ざして消費者知識の習得を図るとともに、消費者の自主的参加のもとで相互の連帯感を強め合い、生活向上の確保に資するため生活展を開催します。
- ★省資源運動推進事業……二百六十三万円
- 安定した消費生活は、世界的に有限な資源・エネルギーを大切に守り育てて行くという長期的展望に立った生活設計から生まれるものです。このため、県民のこの運動に対する自主的な意識の確立と実践を図るため、モデル地区の設置など資源とエネルギーを大切にす県民運動を推進します。
- ★地域食品認証制度事業……二百五十五万円
- 県内で生産され流通する地域食品のうち、納豆、かまぼこなど八品目について、この制度の運用により品質向上と購買上の利便を図っておりますが、本年度は、認証工場の点検、指導を行うとともに、認証品の試買検査を行い、より一層の充実を図ります。
- ★消費者啓発事業……五百一十万円
- 消費者意識の高揚を図るため、「消費生活ニュース」を毎月発行するほか、消費生活センターにおいて消費生活講座、リーダー養成講座、通信講座等を実施し、またモデル町村の設置、テレフォンサービスなどを行います。
- ★苦情処理体制整備等事業……四百五十万円
- 消費生活センターにおいて、苦情相談や各種の商品テスト並びに移動センターを実施して、消費者の利益増進を図ります。
- ★物資・物価対策事業……一千九百三十七万円
- 毎月生活関連物資価格等の動向調査を行うほか、調査結果並びに物価知識について、毎月「物価ニュース」を発行するとともに、新聞等を通じて情報の周知に努め、また物資情報提供協力店制度の活用により、県民生活の安定と向上を図ります。
- ★私学振興、父母負担の軽減……二十一億三千三百九十二万円
- 私立学校の教育振興、父母負担の軽減を図るため教職員に対する人件費、教育費等の経常費補助及び私学振興関係団体に対する助成の充実強化を図ります。